【山崎名誉主宰の俳句】

まだ早い

山崎　聰

ざわざわと青虫毛虫雨のあと

葉ざくらを青しとおもうきのうきょう

加齢してさくらが散って山残る

ただあるく葉ざくらの闇ただ歩く

梅雨の月いつもの靴でみちのくへ

あっけなく五月がおわり雨と風

鯉のぼりふたり並んで手を振って

卯波夕波ロシアから二人来る

父の日の父いる部屋のくらいところ

梨を食い生前葬はまだ早い